

令和3年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第七小学校 第1学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 平仮名や片仮名などを正しく理解し、拗音、促音、長音などを含めて、正確に書いたり読んだりする技能を身に付けさせること。 <p><思考・表現・判断></p> <ul style="list-style-type: none"> 見たものや聞いたこと、体験したことなどを簡単な文章で書き表す力を身に付けさせること。 場面の様子を想像したり、登場人物の気持ちを考えたりしながら読む力を付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名、片仮名の反復練習を行い、正しい文字の書き方や読み方の定着を図る。また文字単体だけでなく、ICTを活用して絵や写真などを提示しながら、それを言葉で言い表す練習を行って、事物に正しく対応した表現の練習も行い基礎的な知識を身に付けさせる。 見たことや経験したことについてのつづきを大切に、それを言葉に変え、さらに文章に変えるという作業を繰り返せるよう、対話を多く取り入れた授業づくりを行う。 アニメーションを取り入れた読書指導を行い、たくさんの本に触れさせて、読む力を育む。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 反復練習を行ったことで、ひらがな、かたかな、漢字を正しく書く力を、またICTを活用したことで実物と言葉を正しく対応させる力を身に付けさせることができた。 <p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> 対話の中から言葉を増やし、表現の仕方を身に付けた児童が多い。その中で文章化し書き表すことができる児童が増えた。 読書に親しませることで、物語を楽しむだけでなく、「じどう車くらべ」や「どうぶつのあかちゃん」の学習で、図書資料から知りたいことを調べさせる活動も行うことができた。
算数	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 数の概念を確実に捉えさせること。 加法、減法を正確に理解させること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 文章問題の場面を想像し、正しく立式したり解答したりする力を身に付けさせること。 算数で学んだことを日常生活の中で生かす力を付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物を使って、数の合成や分解の操作を繰り返し行わせて知識を定着させる。 計算の反復練習を行い、確実に正答を導き出せる力を養う。 文章を正しく理解できるよう、「分かっていること」と「聞かれていること」を確実に捉えさせ、課題を把握する力を付けさせる。また文章だけではイメージを捉えにくい児童に関しては、ICTを活用して実際にイラストを操作させるなどしながら、場面を理解できるようにさせる。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 具体物の操作を繰り返したことで、9割の児童が数の変化を確実に理解しており、繰り上がり・繰り下がりのある計算も正答を導き出せる力が付いている。 <p><思考力・判断力></p> <ul style="list-style-type: none"> 文章題を丁寧に読ませることで、聞かれていることは何かを捉える力を付けさせることができた。8割の児童が正しく立式し、答えを出すことができるようになった。文章から課題把握をすることが苦手な児童には、イラストや半具体物を使って場面を捉える指導を続ける。
生活	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 自然や生き物、多くの人の触れ合いや、季節の変化を通して、多くのことに気付かせること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 自然や生き物、多くの人の触れ合いの中で気付いたことを、自分の生活をより豊かにするために生かしていこうとする力を身に付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 同年齢や異年齢の子供たちと交流しながら、互いに学び合う活動や体験を設定する。活動の振り返りを丁寧にを行い、気付いたことや感じたことを表現できる力を付けさせる。 植物の観察や生き物探しなど自然と関わる学習を多く取り入れ、自分の生活とのつながりが実感できるようにさせる。その中から、自分の生活に生かせることを見付けさせる。 	<p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> 行われた機会ではあったが、異学年交流の中で得た学びが、次の1年生を迎える歓迎の気持ちにつながり、次年度への意欲を高めさせることができた。 季節の変化を年間を通して発見する活動の中で、豊かな自然やあふれる地域への関心や愛着を高めさせることができた。
音楽	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けさせること。 音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けさせること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもたせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画を活用して魅力ある歌声に接したり、曲想を感じ取って歌い方を工夫したりする機会を設ける。 教師や友達の演奏を聴いたり見たりすることで、楽器の適切な演奏の仕方を身に付けられるようにする。 思いを基に、実際に演奏して確かめていく過程を多く取り入れるようにする。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 発声や発音に気を付けて歌わせることができた。動画を活用し、正しい歌い方のコツを示したり、魅力ある歌声に接したことが有効だった。 音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器の適切な奏法を身に付けさせることができた。タブレットを活用し、教師の見本演奏動画を視聴させたことが有効だった。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 表現を工夫し、思いをもたせることが不十分だった。子供たちの思いをより広く取り上げ、演奏に生かすような指導が必要だった。
図画工作	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に活動するための指導と環境を整えること。 <p><思考・表現・判断></p> <ul style="list-style-type: none"> 表したいもののイメージを基に、素材や道具を工夫して表させること。 	<ul style="list-style-type: none"> はさみやテープなど、道具の安全な使い方を何度も復習させ、定着させる。 制作工程に合わせてそれぞれ場を設定し、スムーズに制作が進むようにする。 材料の種類を揃え、様々な素材に触れる機会を増やし、素材の特徴や違いに気付けるようにする。 児童の実態に合わせて課題の難易度を調整する 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 子供に授業規律を守らせることを徹底したことで、道具を正しく使って、習った技能を使いながら楽しく制作に取り組める子供が増えた。教師が一斉指導だけでは理解が不十分な子供や、道具の使い方に悩んでいる子供には、個別に対応し最後まで制作に取り組みさせ、作品を完成させることができた。 <p><思考・表現・判断></p> <ul style="list-style-type: none"> 教師が材料の種類を揃えて子供が自由に使える環境を整えたり、参考作品を提示することで、子供の表現の幅の広がりがみられたことが成果である。
体育	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 体幹を保持させるための力や体を柔軟に動かす力を付けさせること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 安全や健康を目的に、その場に合った体の動きを考えて実行する力を付けさせること。 友だちと協力して、遊びのルールを守りながら楽しく運動する力を付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具やマット、ボールやフープなどを活用して多様な動きを体験させながら、日常生活に必要な体幹を鍛えさせる。 安全面や自己の健康のために、叱咤の場面でも正しい動き方を判断できるように、敏捷性を養える運動を反復して行わせる。 ルールの大切さを理解させ、自分だけでなくみんなが楽しく運動できるような力を付けさせる。 	<p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な動きを体験させる活動を多く取り入れたことで、積極的に体を動かそうという気持ちが高まり、楽しく運動できる児童が増えた。 危険な場面とそれを回避するための動作を学ぶことで、体づくりの運動が自身の安全を守ることにつながることを考えられる児童が増えた。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 体の動かし方には個人差があるので、引き続き実態に合った技術指導が必要である。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を整える力を付けさせること。 自分のことを自分でやる力を付けさせること。 自分の行いに対して正直になろうとする気持ちを養うこと。 周囲の人や物に対して思いやりの気持ちをもって接しようとする態度を身に付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動の時間目標を設定して時間への意識を高めたり、毎回自分の持ち物を確認して整理整頓への意識を確実にもたせたりしながら、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 想定した場面での役割演技などを多く取り入れ、様々な立場からの見方や考え方を理解させることで、思いやりのある行動ができる力を身に付けさせる。 	<p><基本的な生活習慣については、ほぼ全員の児童に身に付けさせることができた。苦手なことでも最後まで自分でやり遂げようという気持ちに個人差があるので、引き続きの指導が必要である。></p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な立場を想定した考え方を共有することで、自分の考えだけが正しいわけではないということを理解させることができた。そのことを、日常の行動の中でも表せるようになった児童が増えた。

※ 枠の大きさは適宜調整して、1枚に収まるように作成してください。